

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立津ノ井小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 学びの多様性を保障することで、学びの質を高める

「表現方法」「考え方」の多様性を認める



個別最適な学びと協働的な学びが一体化する

1年生 国語科

「かたかなをみつけよう」

- 様々な場所から情報を集める
 - ・事前に家庭学習でかたかなを見つける。
 - ・広告からかたかなを見つける。
- ⇒写真に撮り、画面上に印を付けて文字を書く。
- ⇒友達に分かりやすく伝えるという相手意識と目的意識をもって編集する。



広告の紙面から、かたかな表記を見つけて撮影

2年生 国語科（教材文：スイミー）

「お話を読み、好きなところをつたえよう」

- 端末を活用する
 - ⇒書くことに困り感のある児童も意欲的に学習に向かう。
- 端末に学習履歴を残す
 - ⇒自分の学びの足跡を振り返ることができた。
- 端末を活用させることで、児童自身で学び方を見つけることができた。



表現のツールとして、ノートか端末かを選んで取り組む子どもたち

3年生 算数科「式と計算」

- 個々の意見を共有する場面で、学習支援ソフトを活用。
- ⇒児童も教員も、より多くの友達の意見を知ることができた。
- ⇒児童とは異なる友達の考えを知り、自分の学びに取り入れられた。



友だちの考え方や意見を共有できる画面で、他者参照しながら学ぶ

(児童の変容)

- 自分が表したい表現の手段を選択し、相手意識をもち、学習に取り組めるようになった。
- 対話のある授業に積極的になった。

(教員の気付き)

- 多様な学習方法を用意し、提供することの重要性に気付くことができた。
- 個々の考えを把握することで、学習の見取りと手立ての構築が容易となった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立津ノ井小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 自立した学習者を育てる

- ・個人で考える（個別の学び）
- ・班で考える（協働の学び）
- ・個人で振り返る（個別の学び）

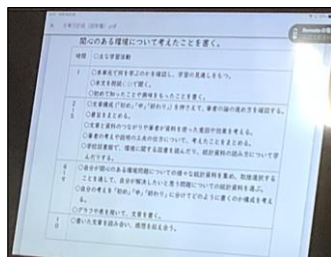
学ぶ方法を自分で選ぶ
他者と関わりながら学ぶ

自立した学習者になる

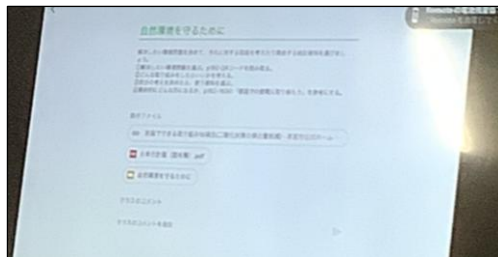
5年生 理科「流れる水のはたらき」

○端末に「単元計画、本時のめあて、活動内容、必要な資料（リンクなど）」等の情報を提示する

- ・学習の見通しをもって取り組むことができる。
- ・自分のペースで、情報収集したり、友達と考えを共有したりしながら、主体的に学ぶことができる。



(単元計画)



(本時の学習や資料を共有)

2班

○山の中（上流）

- ・山や田んぼに左右に囲まれていて大きな岩があり岩が流れる水の幅が狭い。

- ・山の中の水はゆっくり流れていく

○平地（中流）

- ・家、橋、建物、道路が見えてきて流れる水の幅が山の中（上流）と比べて少し広くなった

○海（湖）の近く

- ・山や田んぼが少なくなってきた、はたが広がっている、ここ下流と言う
- ・左右に家があって海、（湖）がはさまれている。

個人の意見
をもとに班で
話し合い、意
見をまとめる。

＜児童の振り返り（単元全体を通した内容）＞

- 川では、水害が起こらないように、たくさんの工夫をしていることがわかった。もっとたくさんの工夫を知りたい。
- 雨が降ったときに、川の水があふれないように河川敷が広くつくられていて、雨が降らないときは遊んだりスポーツをしたりすることができる。
- 日本は多くの水害が起こっているから対策をしてそれを防ごうとしていることがわかった。だから、普段から身近な備えもしておきたい。

端末を利用し、単元や授業の導入で学習計画等を提示した授業を終えて

（児童の変容）

- 見通しが持て、主体的な学びにつながった。
 - 個人や班でテーマに基づいてクラウドを活用して調べたりまとめたりしていく過程で、他者参照のよさに気付き、取り入れる児童が増えた。
- ⇒自分の学びと他者の学びを整理・分析しながら振り返り、学んだことを自らの生活に適用していく意識を高めることで、自立した学習者としての資質・能力を高めていった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立津ノ井小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 学習のコンテンツとして動画教材を活用する

動画教材を活用する



「学習意欲が向上する」「効果的な視覚及び音声支援になる」「自分のペースで視聴ができる」これらの効果により、主体的な学びが充実する

1年生 家庭学習での活用

家庭で動画教材を視聴した後に、アンケートに回答する課題を出した。

どうがを見ることができましたか。*

☐ できた

☐ できなかった

送信

フォームをクリア

4年生 理科「ものの温度と体積」

本単元では、空気・水・金属の3種類の実験を円滑に行うために、その際に動画教材を活用した。実験後に動画を視聴することで、実験結果を客観的に考えたり、学習内容を深めたりした。

また、同様の流れで授業を進めることで、児童に単元全体の見通しを持たせることができた。



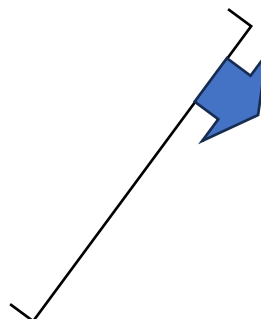
6年生 理科「大地のつくりと変化」

学習用語を確認してから、問題を解決する際に、動画教材を活用した。動画を視聴してから、結果・考察をノートにまとめた。

動画教材を活用することで、地層のでき方や地層のずれなどを映像を通して把握することができた。

特別支援学級「学級活動」

地震の防災訓練の事前学習で動画教材を活用した。児童にとっては、視覚支援が有効であった。また、動画を一時停止して考える時間をとることで、内容をより良く理解することができた。結果として、児童は落ち着いて訓練に取り組むことができた。



（動画教材を活用することによる児童の変容）

- 生活に関係のある学習について、動画を視聴して情報を得ようとする意欲が高まった。
- 学習のコンテンツとして積極的に動画教材を活用するようになった。